

## 令和3年度第2回 きよみ野地区地域支え合い会議 議事録

日 時：令和3年12月3日（金）

午後1時30分から午後3時30分

場 所：おあしすミーティングルーム4

### <参加者>

きよみ野西自治会辻田会長、きよみ野東自治会妹尾副会長

きよみ野西地区：田中民生委員・伊勢谷民生委員

きよみ野東地区：竹林民生員・成田民生員・伊東民生委員

長寿支援課：豊田、金澤

生活支援コーディネーター：浦上

第一地域包括支援センター：石岡・大友

社会福祉協議会：日高・谷口

計14名

### 1 開 会

### 2 自己紹介

### 3 議題

#### ① 中曽根小学校区「地域づくりフォーラム」について

##### <開催に至った経緯>

中曽根自治会において「地域ケア会議」という名称で、地域のことやできる取り組みについて考える場が定期的に行われていたことや、地域型介護予防事業や地域での高齢者向けサロンが小学校区内のほとんどの地域で行われていることなど、地域における話し合い等ができる基盤があると判断し小学校区域内6自治会長へ相談し了承をいただいたのでフォーラムを開催。

##### <対象者>

6自治会に居住している住民に対し、案内チラシを全戸配布にて周知

74名参加（住民・発表者48名、関係機関より26名）

##### <内容>

- ・行政より中曽根小学校区における地域の現状についての説明  
2019年に道庭地区で実施したアンケート集計結果について報告
- ・さわやか福祉財団 岡野氏による講演  
「みんなで参加する助け合いの地域づくり」
- ・地域の支え合い、助け合い活動の実践報告（3団体の事例）

##### <フォーラム後の取り組み>

フォーラムに参加し希望した方等を対象に学習会を2回実施  
現時点で19名から協議体への参加希望を受けている。

## ② きよみ野地区学習会について

〈辻田会長より企画案の共有〉※別紙参照

- ・最終的な着地点は、住民主体の会議体を立ち上げることと考える。
- ・中曽根地区は地域課題を考える基盤が整理されているため、各団体の取り組み事例の共有や「たすけあいの地域づくりについて」など総論となるテーマとなっていたが、きよみ野地区で行う場合にはまず地域コミュニティーに重点をおきテーマを設定する必要があるのではないかと。特にコミュニティーの衰退によって引き起こされる問題について提起する必要がある。  
⇒自治会の加入率が低下している中で現在は何とか保たれているが、その先どうなるのか。身の回りの不具合が生じてきたことに大きな問題があるということに気が付くということが重要になる。
- ・周知方法は自治会の回覧だけでは、興味を引くことは難しいため合わせて各活動者へ直接声がけを行う必要があるのではないかと。
- ・経費の捻出についてはどう考えるか。  
⇒今後の開催方法によるが、市として生活支援体制整備事業の費用や大学などの地域支援に協力的な講師等を活用することができると考えている。  
自治会費などから捻出する場合には、前年度の委員会から検討する必要がある。
- ・協議体が立ち上がった後はどの段階で関係者は手を引くものなのか。  
⇒立ち上がった後も、手を引くことはない。市、生活支援コーディネーター、包括支援センター、社会福祉協議会の職員も課題などに応じて参加させてもらう予定となっている。

〈参加者からの意見〉

- ・支え合い会議の参加者も地域の課題や現状について把握は出来ていない。  
自治連合会と市が行ったアンケートはどのようにして行ったのか。  
⇒各地域のオリジナル要素も加えて高齢者支援をテーマに実施した。特に道庭自治会では、班長さんたちの協力も得られ丁寧な趣旨説明を行い回収方法なども工夫したため70%以上の回収率となった。
- ・きよみ野自治会の会長、副会長等を経験した有志で「よりよいきよみ野を作る会」が結成されている。東西の共通の専門委員会（2か月1回程度）を実施している。問題意識の高いメンバーいるためそういった活動者からも協力が得られると良いのではないかと。

〈社会福祉協議会 日高氏より〉

- ・第二層は小学校として想定しているがきよみ野地区の支え合い会議を市としてどう捉えているのか。  
⇒関小学校と栄小学校との境になり、2,000世帯の大規模地域となるため単体としての取り組みとして第2層を検討する余地があるため検討し、回答する。
- ・今後は高齢者支援の視点だけでなく、地域全体で世代問わず課題を整理して

していく必要があるため長寿支援課だけでなく自治会を所管している市民参加推進課の参加も必要になるのではないかと。

⇒長寿支援課より内容を共有したうえで参加を要請する。

#### 4 まとめ（次回検討内容）

- どのように地域の現状を広めていくか。住民に知ってもらう場をどのように作っていくかを検討する。
- 地域の課題を吸い上げるための方法を検討する。
- 地域コミュニティーについて話の出来る講師を検討する。  
⇒市で候補者をリストアップして次回会議に共有。まずは、参加者だけで学びを深められる場を設けるのも良いのではないかと。ディスカッション形式でのアドバイザーを想定。
- 自治会の中での民生委員の役割を明確していく必要がある。  
きよみ野東では、必要に応じて役員会の参加が認められているが西は関わりがない。民生委員の人達が地域で活動しやすくするためにも、周知方法等も検討していく必要がある。

#### 5 次回の開催 1月21日（金）13：30～ 吉川市304会議室予定